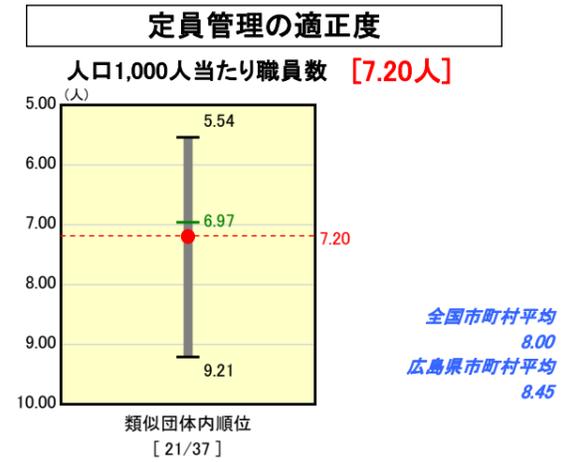
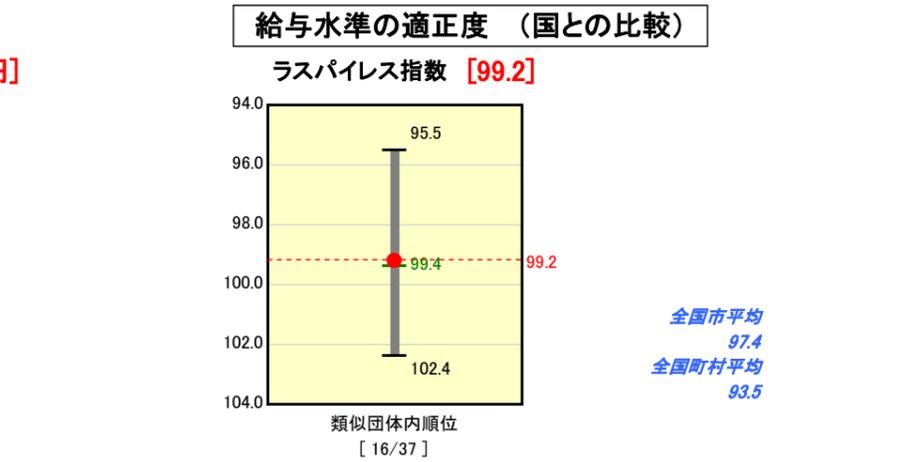
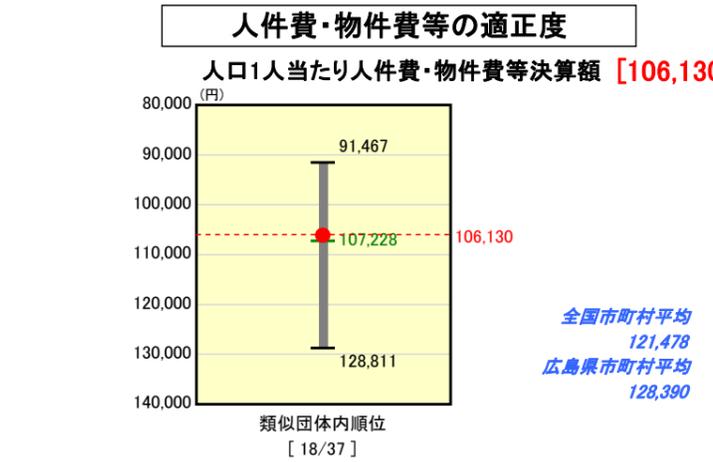
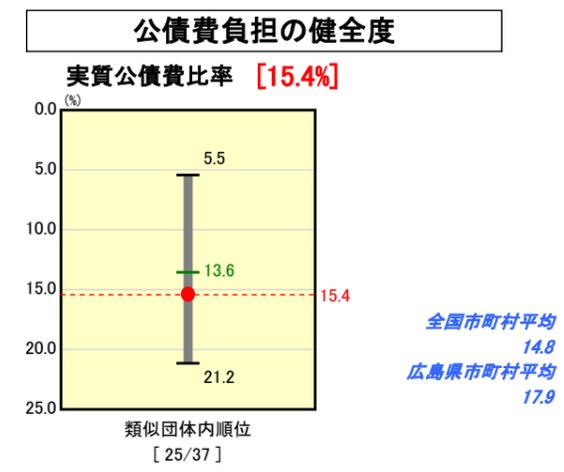
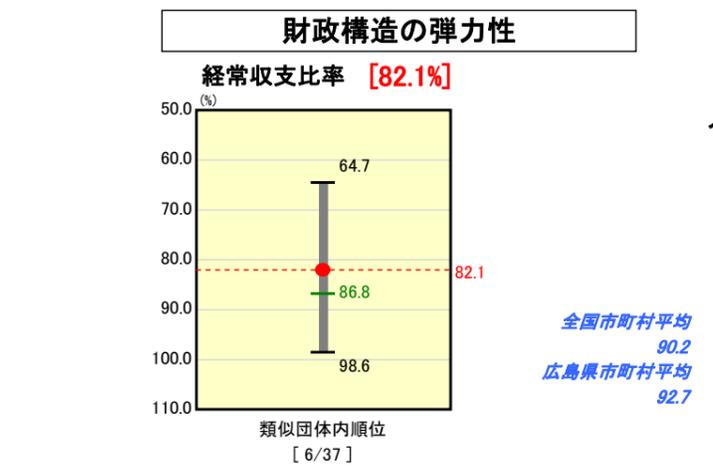
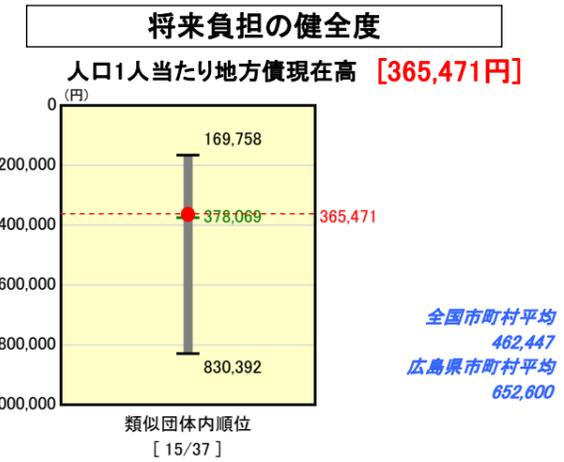
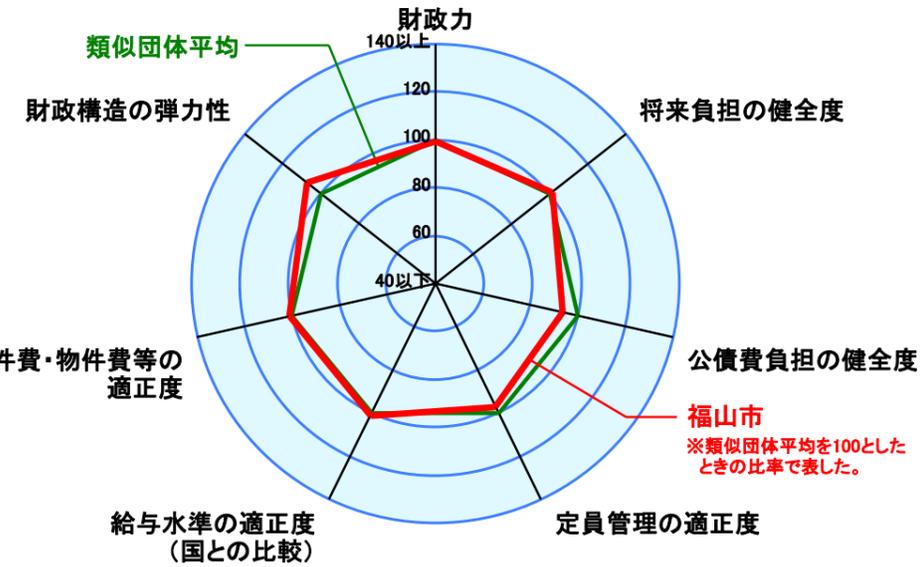
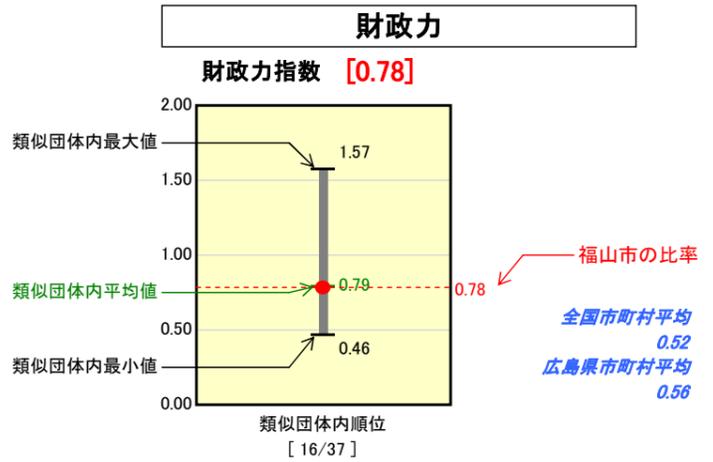


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 広島県 福山市

人口	462,950	人(H18.3.31現在)
面積	518.07	km <sup>2</sup>
歳入総額	159,227,594	千円
歳出総額	155,080,799	千円
実質収支	2,877,562	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**【財政力指数】**  
前年度より0.01低下し(2年連続の低下)、0.78となったが、合併の影響などの要因によるものと考えられる。今後は合併に伴う不均一課税に対する特例措置の終了、税制改正の影響などによる増加要因と併せて、市税等の収納率向上に向けた取組みを継続することにより、歳入確保に努める。

**【経常収支比率】**  
臨時財政対策債が減少したが、法人市民税などの市税の大幅な増により経常一般財源全体は増加した。一方、経常充当一般財源は、扶助費・繰入金充当が増加したが、定年退職や職員数の減により人件費充当が減少し、また前年度繰上償還等により公債費充当が減少したことにより全体として減少した。比率は前年度に比べ若干改善したが、行財政改革大綱や集中改革プランに基づき、市税等の収納率向上による自主財源の確保に努めるとともに、定員管理及び給与の適正化など今後も引き続き行財政改革を着実に推進する。

**【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】**  
人件費、物件費及び維持補修費の合計額の人口1人当たり決算額は、類似団体の平均値と同水準である。前年度に比べて、人件費は減少したが、物件費は若干増加した。引き続き、行財政改革大綱や集中改革プランに基づき、定員管理及び給与の適正化や、民間委託・民間移管の推進及び指定管理者制度の活用による物件費の削減に取り組む。

**【ラスパイレース指数】**  
ラスパイレース指数は全国市平均より1.8上回るが、類似団体の平均より0.2低く、順位では中位よりやや下位に位置している。なお、給与の適正化については、平成15年度に特殊勤務手当を全面見直し、平成17年度に調整手当を廃止、平成18年度からは平均で5.35%の引き下げとなる新給料表を導入するとともに、初任給基準の引き下げも実施したところであり、今後についても国の公務員制度改革の動向等を見据え、引き続き一層の適正化に努める。

**【人口1人当たり地方債現在高】**  
前年度より減少しているが、今後は合併特例債の発行増や、市立大学の整備など大規模事業による増加要因も考えられる。引き続き元金償還額の範囲内の借入れを基本とした計画的な市債の発行や、繰上償還などの公債費対策を実施し、市債残高の縮減に努める。

**【実質公債費比率】**  
類似団体の平均値を上回る15.4%となっているが、単年度数値で見ると、平成17年度は前年度より減少している。元金償還額の範囲内の借入れを基本とする市債残高の縮減に向けた取組みを継続していくことにより、数値は減少していく見込みである。

**【人口1,000人当たり職員数】**  
平成10年度からの8年間で449人の職員数の削減を行った。引き続き「5年間で約5%（約230人）の削減」を目標に取組みを進めているところである。本市は、広い行政区域を有していることから多くの支所や学校等に職員を分散配置していること、また、本市の特色である全員入所を基本とした公立保育所の充実など積極的な保育行政を推進していることから、類似団体の平均値よりやや高い数値となっている。今後、福山市中長期定員適正化計画を基本に削減目標の達成に向けて取組みを進める。